

氏 名：鈴木 瞳

学 位 の 種 類：博士（看護学）

学 位 記 番 号：甲第 244 号

学位授与年月日：2024 年 3 月 8 日

学位授与の要件：学位規則第 5 条第 1 項該当

論文審査委員：主査 五十嵐 ゆかり（聖路加国際大学 教授）

副査 大田 えりか（聖路加国際大学 教授）

副査 小山田 恭子（聖路加国際大学 教授）

副査 荒田 尚子（国立成育医療センター 診療部長）

論 文 題 目：Development and Feasibility Study of Educational Program for Midwives, Nurses, and Public Health Nurses Providing Preconception Care: A Pilot Randomized Controlled Trial
プレコンセプションケアを提供する助産師・看護師・保健師に対する
教育的介入教材の開発と実行可能性の検討：パイロット無作為化比較研究

博士論文審査結果

鈴木瞳氏の博士論文は、妊娠前の若い世代の健康と生活の質を向上させる「プレコンセプションケア」が看護職者より提供されることを期待し、教育プログラムを開発した。研究の目的は、プレコンセプションケアを提供する可能性のある助産師、看護師、保健師に対する教育プログラムを開発し、パイロットランダム化比較試験を 41 名（介入群 $n = 21$ 、対照群 $n = 20$ ）に実施し、ランダム化比較試験プロトコルのデザインの実現可能性と受容性を評価することとであった。結果、知識テストでは、介入群と対照群の間で 1 カ月後の追跡調査時に有意差が認められた。また、介入群では態度と技能において、統計的に有意な改善が認められた。さらには、介入群のうち 15 名がプログラム参加後にプレコンセプションケアに関連した新たな行動を起こしたと回答した。介入群は対照群と比較して、知識、態度、技能において有意な改善を示し、介入プログラムの潜在的な効果が示された。

審査では、特に考察において、プログラム前の対象者のプレコンセプションケアに対する考えのデータについての考察、段階的に学べるプログラムとするならばその位置づけとプログラム改善の具体的な説明、模擬カウンセリングの目的と目的に応じた改善点、職種ごとのプログラムの実行可能性の評価の追記、が指摘された。これらについて適切な修正が確認された。

本研究は、予備調査を積み重ねて本研究に至っており、十分準備されたものである。今回作成したプログラムは実践的であるとともに新規性があり、また看護職者にも人々にとっても健康を向上させるために発展性があり、今後のさらなる発展に期待できる研究である。鈴木氏は、本テーマに関連する研究を積極的に積み重ね、さらに多くの研究チームにも参画しつつ自律的に研究活動をしてきたことも高く評価された。

以上により、本論文は、本学学位規程第 5 条に定める博士(看護学)の学位を授与することに値するものであり、申請者は看護学における研究活動を自立して行うことに必要な高度な研究能力と豊かな学識を有すると認め、論文審査ならびに最終試験に合格と判定する。